

5年生

5年1組 あっちの空にあんな雲！このあとの天気は…？～天気の変化～

11月25日9時の天気を予想して、結果を分析し、より正確に予想するためにはどのような情報が必要なのか予想したことを振り返り、粘り強く他者と関わりながら問題解決していきました。

本時では、話し合いを通して「雲は西から東に動いているから、次の日の天気を予想するときには高知県や鹿児島県の天気を見るとより正確に予想できる。」「IoT百葉箱だけではなく、気象衛星の雲画像や雨雲レーダーなど情報をつなげて考えることでより正確に予想できる。」と、次につながる振り返りをしました。

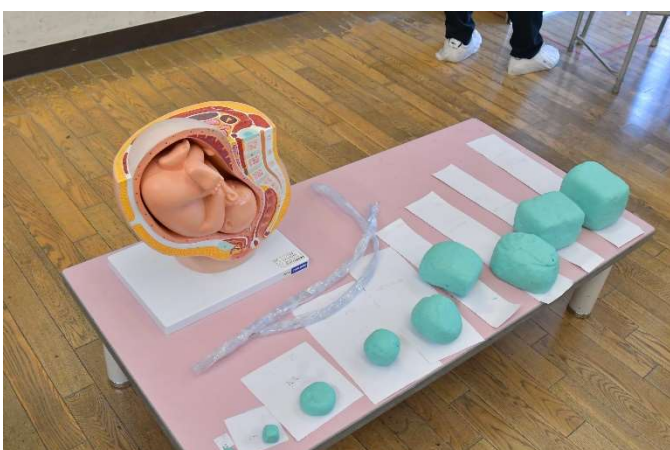
講師の川上先生からは、「発表に対して質問をするなど、話し合いが自然と発生している。」と、価値付けていただきました。



5年2組 「包」まれて、抱かれて～人の誕生～

人が母体内でどのように成長するのかについて、模型を観察したこと、モデル実験したこと、資料で調べたことを基に考察し、表現するなどして粘り強く他者と関わりながら問題解決できることを目指しました。

本時では、複数の資料を関連付けて「人は、お母さんのおなかの中で羊水に守られながら～その緒を通して栄養や酸素をもらい、270日くらい過ごす」という結論を導きました。振り返りでは、「知らなかったことを知れて良かった!」という発言があり、その発言について講師の川上先生から「そのような授業ができる」とい。と価値付けしていただきました。



5年3組

一本の導線に流れる電流、微かな磁力を添えて～電流がつくる磁力～

電流が流れる導線に磁力が発生しているのか確かめる実験を行い、得られた複数の結果を基により妥当な考察をして、表現するなどして問題解決できるようにしていきました。

本時では、全員納得の結論まではいきませんでしたでしたが、次の週に再実験を行い、「電流を流すと磁力が発生する」という結論を導くことができました。自分のグループの結果を出すために、何度も繰り返して実験し、目的を達成するために粘り強く取り組む姿を講師の川上先生に価値付けていただきました。

